

○表示及び略号の説明

1. 境界表示

表示	内容
-----	用途地域界, 容積率界, 高度地区界

2. 用途地域, 高度地区、防火地域及び準防火地域の略号の説明

●用途地域

表示	内容	表示
1 低専	第一種低層住居専用地域	<p>例</p> <p>1 中高 (200/60) ④</p> <p>用途地域                      高度地区 (記載のない場合は、 高度地区指定なし)</p> <p>容積率(%)    建ぺい率(%)</p> <p>※変更後の用途地域の色を図面上に表示</p>
2 低専	第二種低層住居専用地域	
1 中高	第一種中高層住居専用地域	
2 中高	第二種中高層住居専用地域	
1 住居	第一種住居地域	
2 住居	第二種住居地域	
準住居	準住居地域	
近 商	近隣商業地域	
商 業	商業地域	
準 工	準工業地域	
工 業	工業地域	
工 専	工業専用地域	

●高度地区

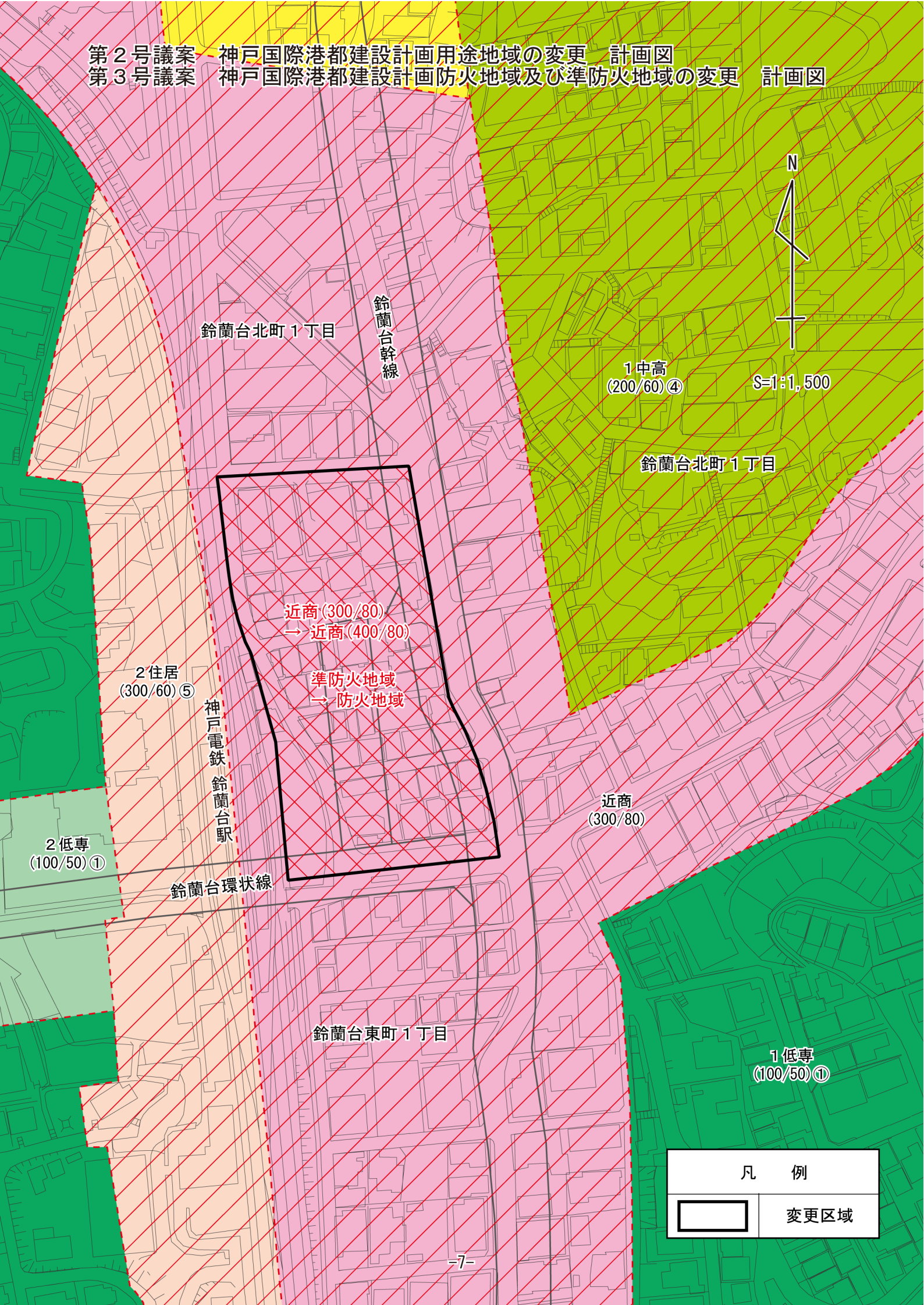
種類	第一種高度地区	第四種高度地区	第五種高度地区
略号	①	④	⑤
制限内容	<p>(絶対高さ制限)</p>		

●防火地域及び準防火地域

表示	内容
	防火地域
	準防火地域

※防火地域 — 地域内の建築物を不燃化する地域で、主に耐火構造にする必要がある

準防火地域 — 防火地域に準ずる地域で、建築物などの防火性能を集团的に向上させ、火災の延焼拡大を抑制するため、一定の規模に応じて耐火・準耐火構造などが必要となる



鈴蘭台北町1丁目

鈴蘭台幹線

1 中高  
(200/60) ④

S=1:1,500

鈴蘭台北町1丁目

近商(300/80)  
→ 近商(400/80)

準防火地域  
→ 防火地域

2 住居  
(300/60) ⑤

神戸電鉄  
鈴蘭台駅

近商  
(300/80)

2 低専  
(100/50) ①

鈴蘭台環状線

鈴蘭台東町1丁目

1 低専  
(100/50) ①

凡 例



変更区域